

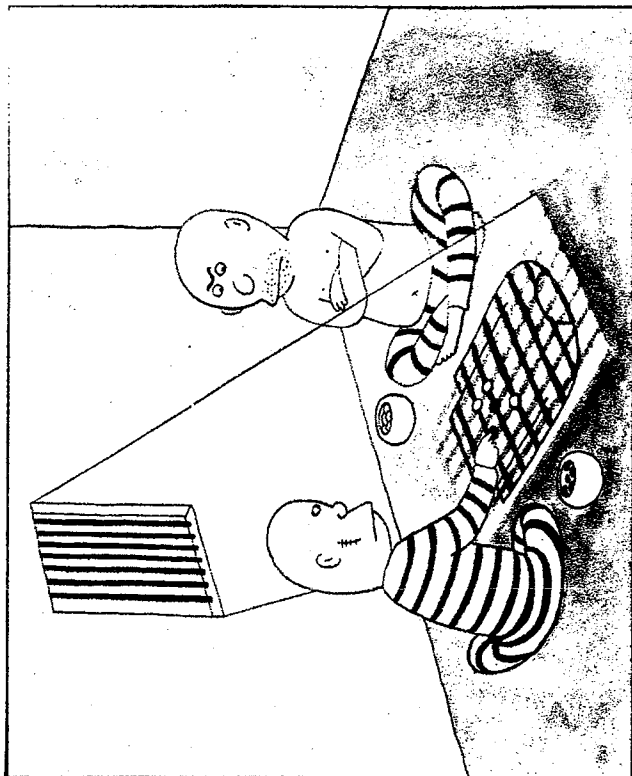
国語表現（四年）

後期定期テスト

問題は A 3 の両面印刷一枚（No. 1・No. 2）と A 4 片面印刷一枚（No. 3）です。解答用紙はこの裏に印刷してあります。

試験終了後、解答用紙だけを回収します。

【一】「次の一コマ漫画を、見ていない人にもわかるように言葉で説明しなさい。」という課題で、Aさんの書いた説明文は不可だった。不可となった決定的な理由は何か書きなさい。



Aさんの説明文

これは一コマ漫画である。左の男の右頬には傷がある。右の男は上半身裸である。二人とも丸坊主で向き合つてあぐらをかいている。二人は囲碁を打っている。左の男が右手で黒の碁石を打とうとしている。右の男は腕組みをしながらそれを見ている。右の男のシャツが床に敷いてあつてそのシャツの縞模様の上に碁石を置いている。部屋には一つ窓があり、逃亡防止の縦格子の棧がはめられている。

【二】「箸」を全く知らない人に「箸」を説明する文章を段落を作らずに150字以上180字以内で書きなさい。その際、意見を入れずに構成しなさい。（字数の確認用として左に原稿用紙を設けたが、この用紙は回収しないので注意すること。）

田九轉下

This image shows a full page of graph paper. It features a uniform grid of small squares created by dashed horizontal and vertical lines. A solid horizontal line runs across the width of the page, approximately one-third of the way from the bottom edge. The entire grid area is enclosed within a thin rectangular border.

【三】次の文章の傍線部について、〈事実〉であれば（ア）、〈意見〉であれば（イ）と書きなさい。

* 飲酒運転をなくすために、県や県警はどんな取り組みをすればいいのか。識者からは様々な意見が寄せられた。

「交通事故学」の著書がある、日本交通心理学会会長の石田敏郎・早大教授（安全人間工学）は、しらふの状態で息を吹きかけないと、エンジンがかからない「インターロック」という装置の普及を提案する。

石田教授によると、^①安全運転の確保とPRの狙いから、社有のトラックに自主的に導入している企業は既にある。この雰囲気高めるため、例えば、トラックだけでない社有車全体への導入をまず促すべきだという。^②「県が設置に積極的な会社を優良企業として表彰すれば、モチベーションの向上につながる」。

一方、大手広告会社「博報堂」で、社会問題を解決するためのPR方法を企画する寛裕介クリエイティブディレクター（39）は、「『運転するなら飲まないことが幸せで格好いい』という考え方を、社会に広めていくことが大切だ」と指摘する。

そのためには、まずは飲酒運転した人に理由や状況を丁寧に聞き、なんでしてしまったのかを探る。その上で、価値観の転換に向け、どんなPRの方法が望ましいか考えるべきだ、と指摘する。^③『してはダメ』と訴えるだけでは多くの人の心に届きにくい。当事者の気持ちを動かすポイントを探すことが大事だ』と話している。

（北見英城・朝日新聞 平成二六年二月二日）

* ^④輝かしい新星が現れた。

理化学研究所の小保方晴子ユニットリーダー（30）らのグループが、まったく新しい万能細胞「STAP細胞」の作製に成功した。

筋肉や神経など、さまざまな細胞に変化できるのが万能細胞だ。万能性があるのは、生命の初期である受精卵など、特殊な細胞に限られるというのが生物学の常識だった。

だが近年、万能細胞を人の手で生み出す研究が進み、すでに、受精卵を壊してつくるES細胞、山中伸弥・京都大教授らが遺伝子を導入する方法で開発したiPS細胞がある。

STAP細胞の大きな特徴は、弱酸性の液体に浸すなど細胞を外から刺激することで、ずっと簡単につくれるところだ。

一昨年英科学誌ネイチャーに論文を投稿した投書は突き返された。だが追加の証拠をそろえ、掲載にこぎ着けた。最初に拒絶した専門家は「何百年にもわたる細胞生物学の歴史を愚弄している」と激しい意見を付けてきた。^⑤これはいままや最大級の賛辞と読まれるべきだろう。

まさに教科書を書き換えるような大発見である。

（朝日新聞 平成二六年一月三一日社説より）

【四】次の文は複数の意味にとれる。どこがどう曖昧なのかを説明し、次にそれぞれの意味が確定するように文を改善しなさい。(誤解の余地を残さないようにすること。)

昨年の物理学Ⅲのように途中であきらめないで勉強しよう。

【五】次の文を読み正しいものには○、間違っているものには×を書きなさい。

1. 公表された著作物は、引用して利用することができる。この場合において、その引用は、公正な慣行に合致するものであり、かつ報道、批評、研究その他の引用の目的上正当な範囲内で行われるものでなければならない。
2. 引用する場合は、誰の言説であり、それがどこに掲載されているのかなど、出典を明記しなければならない。
3. インターネットから引用する場合は、「インターネットより」とし、それを見た日付を書けばよい。
4. 引用する箇所に誤字がある場合は、正しく直した上で、「ママ」とフリガナを付ける。
5. 「孫引き」とは、他の書物に引用されたものを原典にさかのぼって調べた上で、原典から引用することをいう。

【六】次の文章を読み、仮名遣いの間違い(本則にあわないもの)を探して、その個数を答えなさい。(平仮名1個につき間違い1個と数えること。)

- A 太郎はいつもほおづえをついてご飯を食べる癖がある。母からはつねづね「行儀が悪いですよ。マナーを守らないと、他人を不愉快にさせるだけでなく、自分自身の品格をきづつけることになりますよ。」と注意されていた。しかし、いつこにおに直す気配がなく、ついに今日、見かねた父に「太郎、そんな食べ方をするな!はづかしいと思わんのか! 高校生にもなつてどうゆうつもりだ。」と怒鳴られた。
- B 面接官が、学生を一人づつ呼んで質問をしている。緊張のあまり声が出ず、うなづくことしかできない学生。何でもいからどうにか返事をしないことには採用してもらえないと思うのだが、どうしてもおうきな声が出せないでいる。本当にかわいそおで心がいたんだ。
- C 母に「今月からおこずかいを半額にします」と言われた。僕はいきどおつて「突然そんなの、ひどいじゃないか。」と抗議した。弟がかたずを飲んで僕を見守っている。母は「やるべきことをやつてないんだから半額にされて当然です。洗濯物はかたずけない、弟のめんどうはみない、試験がまじかに迫つていても普段どおりテレビをみる…まだまだあるわよ。全部言つてほしいの?」と言つた。僕はどくづこうとしてすんでのところで留まつた。
- D 震災を乗り越える日本人どおしのきづなは、世界から賞賛されている。困つたときにはお互いにゆうづうをきかせ、手を取りあつて頑張つていける社会を世界中

できづいていけたら、きっとみんながしあはせになれると思う。

E 電車の事故でやむおえず遅刻してしまったのだが、あいそ^{あいつ}ずかし^{あいつ}されることを恐れてひざまづいて謝った。遊びほ^{あいつ}おけて遅くなったのではないことを理解してもらえたので、足をふんずけられる心配はなさそうだ。

F 行きづまった時には、他人を頼らず自分の信念にもとずいて判断するのが一番よい。ちじこ^{あいつ}まった^{あいつ}気持ちのまま悩むよりも、思い切って決断し前を向いてやってみて、ダメならそれまでのことだ。

G 北国の冬は、お^{あいつ}お^{あいつ}ど^{あいつ}う^{あいつ}り^{あいつ}でさえも雪で車が立ちお^{あいつ}お^{あいつ}じ^{あいつ}よう^{あいつ}することがある。みな春のおとづ^{あいつ}れ^{あいつ}を首を長くして待っている。

H おうま^{あいつ}かな^{あいつ}予想だが、今年の冬は例年よりも厳しい寒さとなるらしい。冬眠から覚めたカエルが「こんにちわ」と挨拶するのが待ちど^{あいつ}う^{あいつ}しい。

I おお^{あいつ}さま^{あいつ}は、こつ^{あいつ}つ^{あいつ}み^{あいつ}で届いたい^{あいつ}ち^{あいつ}ぢ^{あいつ}く^{あいつ}を、飼育中のみみづ^{あいつ}く^{あいつ}に食べさせててな^{あいつ}ずけるつもりだ。

J 冬将軍のとう^{あいつ}らい^{あいつ}。今朝は、すき^{あいつ}とう^{あいつ}る^{あいつ}ような青空となったが、身もこ^{あいつ}う^{あいつ}る^{あいつ}寒さだ。こんな日は早く仕事を終わらせて、鍋でも食べてしたづ^{あいつ}つ^{あいつ}み^{あいつ}をう^{あいつ}つ^{あいつ}に限る。

【七】次の慣用表現を正しく直して全文を書きなさい。

1. 天下の宝刀
2. 蟻の入り込む隙もない
3. 李下に冠を正す
4. 下手な考え休むに似たり
5. 横車を入れる

【八】次の表現は敬語の使い方に問題がある。どこがどう問題なのか説明し、正しく直しなさい。

(飲食店店員のお客様に対する敬語)

「お連れ様が参られました。」

【九】漢字について次の問いに答えなさい。

問 1. 次の漢字の部首の形を書きなさい。

例 問 い 削 答 え り

(ア) 菊 (イ) 曆 (ウ) 摩

問 2. 次の熟語は後の (あ) ～ (お) のどれにあたるか、記号で答えなさい。

(エ) 擬似 (オ) 頻出

- (あ) 同じような意味の漢字を重ねたもの
(い) 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの
(う) 上の字が下の字を修飾しているもの

(え) 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの

(お) 上の字が下の字の意味をうち消しているもの

問 3. 次の各文に間違っている同じ読みの漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を書きなさい。

(カ) 日本代表チームは準決勝で昨年の拙辱を果たし、決勝進出を決めた。

(キ) 昨年の今ごろは多忙な毎日を送っていたが、今年に入ってから大分時間に余裕が生まれたので、陶芸を始めることにした。

(ク) あきらめずに幾度となく接衝を続けた結果、ついに合意文書の採択に至った。

問 4. 次の四字熟語の空欄に入る言葉をあとの□から選び、漢字二字で書きなさい。

・言語 (ケ)

・飽食 (コ)

・不落 (サ)

はくり しんく どうだん だんい なんこう

問 5. 次の (シ) ～ (ソ) が類義語の組合せになるようにしたい。□の中に後の読みの候補の中から適したものを選んで、それを漢字で答えなさい。

(シ) 永遠—悠□

(ス) 不意—突□

(セ) 邪魔—□害

(ソ) 安眠—熟□

【 カイ ジョ スイ キュウ トウ ソ 】

問 6. 次の (ア) ～ (ウ) の傍線部の読みをひらがなで、(エ) ～ (カ) のひらがなを漢字とひらがなで、(キ) ～ (ソ) のカタカナを漢字で書きなさい。

(ア) 鋭い嗅覚

(イ) 装填する

(ウ) 足袋をはく

(エ) たのもしい兄

(オ) わずらわしい雑務

(カ) 傷口がふさがる

(キ) 状況をヘアク

(ク) ゴラク施設

(ケ) 重いケイバツ

(コ) 本心とはウラハラ

(サ) 消化コウソ

(シ) 心頭メツキヤク

(ス) 津波のギセイ

(セ) ケツカン住宅

(ソ) グンコウ割拠

() 科 学 籍 番 号 () 1 () 氏 名 ()

| | |
|------|---|
| 10 点 | 一 この漫画の面白さの中心は、囚人服の横縞と鉄格子の縦の影を利用して、碁盤を作り出しているところにある。従ってまず、「牢獄で囚人二人が、脱いだ囚人服の横縞に鉄格子の縦の影を重ねて碁盤にし、囲碁を打っている」という全体的な場面を説明することが必要不可欠だが、Aさんの文にはそうした状況説明が一切ない。 |
| 10 点 | 二 採点の基準 ・「ものをつまむための二本で一組の棒状の道具 (食器)」ということ をまず最初に書くことが必須。これがない場合は減点5 ・意見を書いた ・誤字脱字 ・文のねじれ ・カンマを使用 ・字数不足…量によって減点 減点 各1 |
| 5 点 | 三 1 ア 2 イ 3 ア 4 イ 5 イ 各1点 |
| 10 点 | 四 曖昧な事柄 4 点 改善1 3 点 改善2 3 点 昨年、物理学Ⅲをあきらめたのか、あきらめなかったのかが曖昧。 昨年の物理学Ⅲは途中であきらめてしまったが、今年はそうならな いようにがんばろう。 途中であきらめないでがんばった昨年の物理学Ⅲのように、今年も 最後までがんばろう。 |

| 1 点 × 30 = 30 点 | | | | | | | | | | | | 5 点 × 2 = 10 点 | | 2 点 × 5 = 10 点 | | 7 点 | | 10 点 | | 5 点 | |
|-----------------|--|-----|---|-----|---|---------|---|-----------|---|-----|---|----------------|--|----------------|---|-----------------------|---|------|---|----------------------------------|--|
| 九 | | | | | | | | | | | | 八 | | 七 | | 六 | | 五 | | | |
| ス | | コ | キ | エ | ア | 6 | 5 | | 4 | 3 | 1 | 正 | | 説明 | 5 | 3 | 1 | F | A | 1 | |
| 犠 牲 | | 裏 腹 | | 把 握 | | 頼 も し い | | き ゅ う か く | | イ | | 如 | | ス | 久 | 道 断 | | コ | | キ | |
| セ | | サ | ク | オ | イ | そ う て ん | | 煩 わ し い | | 娛 楽 | | 酵 素 | | シ | ケ | 下 手 の 考 え 休 む に 似 た り | | 4 | | 蟻 の は い 出 る 隙 も な い (這 い 出 る) | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | た び | | 塞 が る | | 刑 罰 | | 滅 却 | | 群 雄 | | 4 | | 5 | | × | |
| ソ | | シ | ケ | カ | ウ | | | | | | | | | | | | | | | | |